

伝えたいふるさとの景観

福井には

豊かな自然、伝統的な町並みや農村風景など、「ふるさと」を感じさせる景観が数多くあります。

県では、福井の美しい景観を県内外に発信し、ふるさとに誇りと愛着を持つとともに、県民の財産である景観を守り育てていくことを目的に、「福井ふるさと百景」を種別ごとに選定しています。

「福井ふるさと百景」に選定されている、越前町の景観をご紹介します。

【越前水仙】
冬の越前海岸は越前水仙に彩られる。別名「雪中花」と呼ばれる可憐な花が咲き誇る。

【切妻屋根民家群】

江波地区などに多く見られる白壁の古民家群。雪国特有の山形形状で雪が積もりにくいという特性を持ち、白い壁と黒い柱のコントラストが特有の雰囲気を出している。美しい町並みは、伝統ある集落の誇りを感じるようだ。このような民家が密集している地域は珍しく、福井を代表する景観となっている。



【越知山】

山岳信仰の祖で知られる泰澄大師が開山し、幼少から青年まで修行したと伝わる霊峰。山頂には越知神社・奥の院・千体地藏尊などが配され、神仏習合の山岳霊場として栄えた。美しいブナ林など、自然豊かな山道からは白山などの山々や日本海を望むこともでき、登山者も多い。



【劔神社】

越前町織田は、織田信長の祖先の故郷。信長公ゆかりの神社として、約1,800年の歴史をもち、近くには門前町として栄えた町並みが今も残る。劔神社に奉納される「明神ばやし」など、太鼓文化が盛ん。



【越前焼のふるさと】

越前焼は平安時代末期に生まれた日本六古窯のひとつ。越前陶芸村周辺では、登り窯からの煙や作陶風景が見られ、八百有余年の歴史を感じることができる。



【越前がにの水揚げ港】

海岸の道沿いに、民家や旅館、鮮魚店などが軒を連ねる漁師町らしい風景が続く。越前がに漁の季節になると見られる、カニを釜茹でする湯気や、威勢のいい声が飛ぶセリの光景は冬の風物詩。

【越前海岸】

「呼鳥門」は風と波の浸食作用によって長い年月をかけてくりぬかれた自然の大トンネルで、迫力満点の自然美を間近で体感できる。「鳥糞岩」は高さ約100mの大断崖で、自然の驚異と魅力が刻み込まれている。その名のとおり、鳥の糞で白く見えることから鳥糞岩と呼称される。勇壮な日本海とともに生きてきたこの土地の象徴的な光景。



参考：福井ふるさと百景